

那珂川市のお財布

～令和6年度予算～

目次

1. 2つのお財布	2
2. 那珂川市の予算（令和6年度）	
①収入と支出について（一般会計）	3
②こんなことに使います	4～8
3. 収入と支出について	
①令和6年度予算	9～10
一般会計（歳入、歳出：性質別、目的別）	
②令和6年度特別会計予算	11～15

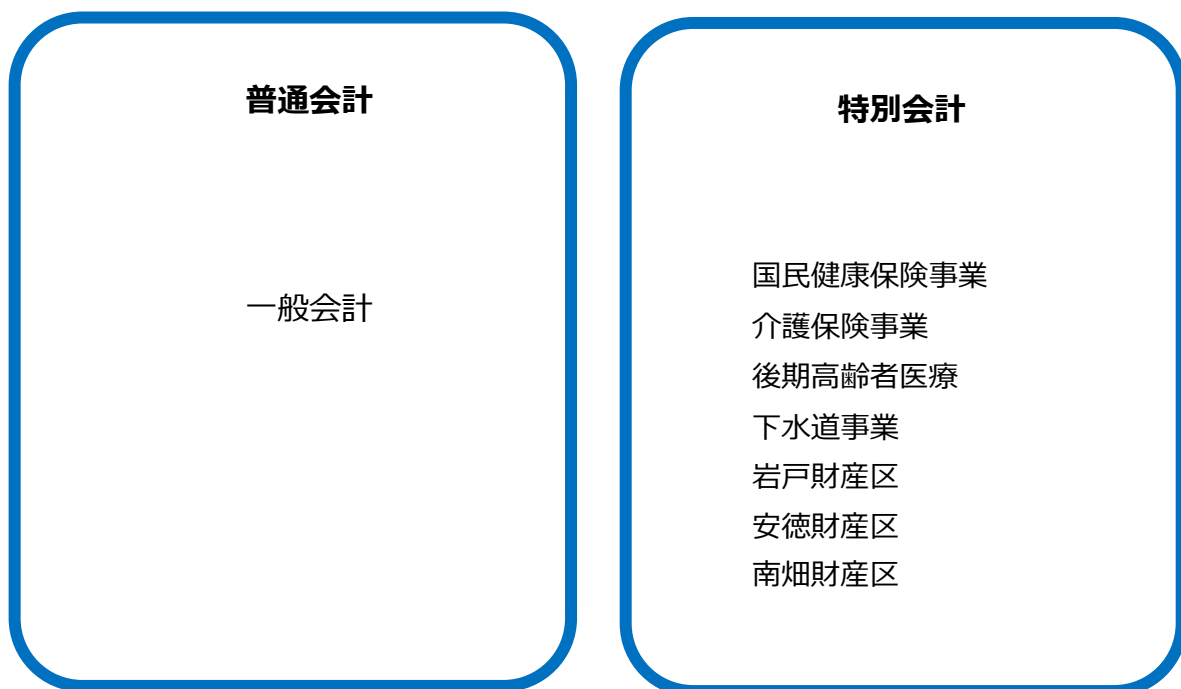
1. 2つのお財布

市では、年間の予算を2つのお財布に振り分けています。通常出し入れするお金は「一般会計」というお財布、特定の事業だけに使うお金は「特別会計」というお財布です。

一般会計は、教育に関する分野、福祉や子育て支援に関する分野など、行政を運営する上で最も基本的な事業を管理するものです。

特別会計は、一般会計から切り離して独立した財布で事業を管理するものです。令和6年度は、国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療・下水道事業・岩戸財産区・安徳財産区・南畑財産区の7の特別会計があります。

<令和6年度>



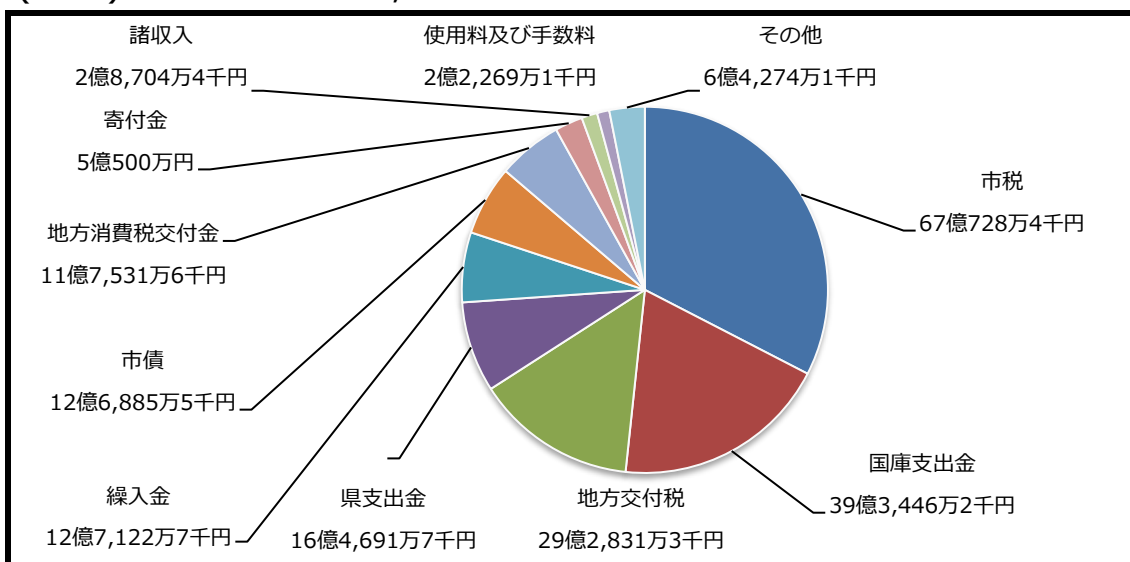
2. 那珂川市の予算(令和6年度)

①収入と支出について(一般会計)

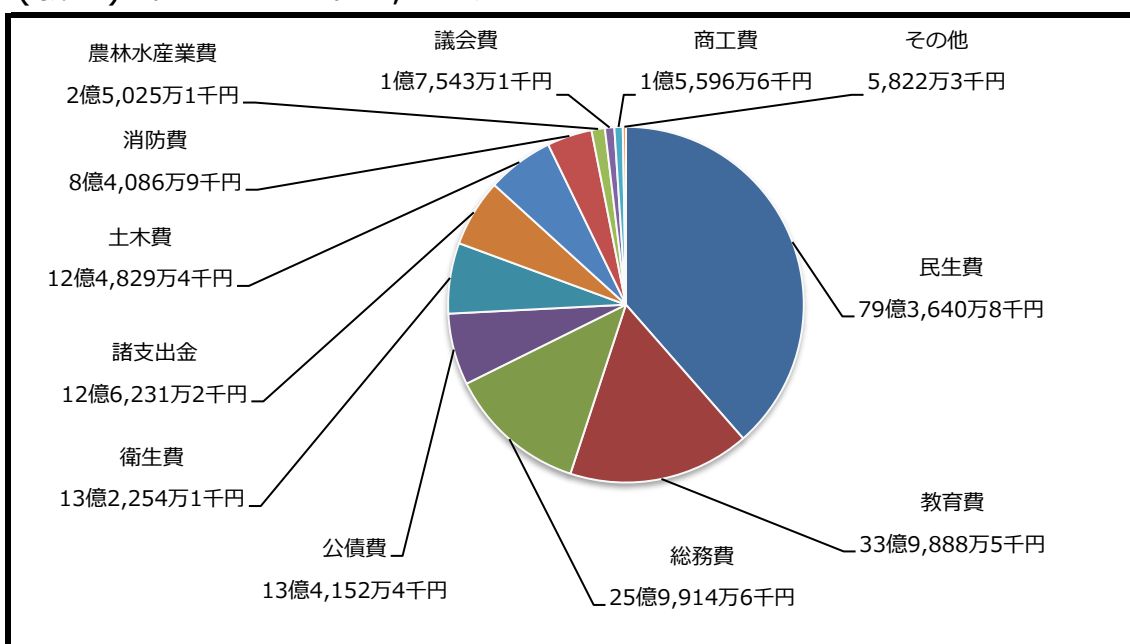
本年度予算は、昨今の急激な物価高騰など厳しい社会情勢が続く中でも持続可能な成長と発展を遂げることができるよう、事業の選択と集中を行いつつ、継続して実施する事業についても、より効果的に進化させることを念頭に置き、予算編成にあたりました。

一般会計総額は、205億8,985万円で6億3,919万1千円の増額となっています。歳入は、市民の皆さまから納めて頂く市税が67億728万4千円と最も多く、国庫支出金、地方交付税と続いています。歳出は福祉施策を行うための民生費が79億3,640万8千円と最も多く、次いで教育費が33億9,888万5千円となっています。

(歳入) 総額：205億8,985万円



(歳出) 総額：205億8,985万円



②こんなことに使います

支え合い、安心に暮らせるまちづくり		
名称	概要	予算額
消防団費	地域の消防防災体制の中核的な役割を果たす消防団において、報酬等の引上げによる処遇改善を図るとともに、広報活動などを通じて団員の確保に努めます。	3,160万7千円
防犯カメラ整備事業費	街頭での犯罪を抑止し、安全安心なまちづくりを推進するため、新たに街頭防犯カメラの設置を行います。	204万2千円
防災重点農業用ため池 緊急整備事業費	防災重点ため池については、令和5年度に引き続き、劣化状況評価などを実施し、現在の施設の状況について確認を行います。安全性を確保するための南面里大池の改修工事を実施し、また、下流域の住民の安全性を確保するため、平石池の廃止工事に取り組みます。	5,344万2千円
福岡女子商業高等学校用地 急傾斜地対策事業費	崩落を防ぎ、地域の安全を確保するため、令和7年度の改良工事に向けて、令和6年度は測量・設計を実施します。	4,796万円

誰もが学び、育むまちづくり		
名称	概要	予算額
産後ケア事業費	出産後間もない時期の産婦に対する支援を強化するため、産婦健康診査に係る費用を助成します。また、産後ケアサービスに宿泊型のサービスを追加し、サービスの充実に取り組みます。	738万6千円
施設型給付事業費 地域型保育給付事業費	私立保育所に加えて、新たに認定こども園や小規模保育施設に対し、施設の運営に要する経費の一部を補助することにより、更なる保育環境の充実に取り組みます。	8,214万6千円
教育サポートセンター管理費	教育サポートセンターを移設し、適応指導教室の運営手法の見直し、不登校児童生徒への働きかけの強化、保護者への支援など不登校対策を推進します。	3,234万5千円
総合運動公園整備事業費	PPPアドバイザリー業務を実施するため、公募型プロポーザル方式による受託事業者選定を行い、引き続きPFI方式による検討を推進します。	703万5千円
地区公民館改修事業費 (中央公民館トイレ等改修)	市民一人ひとりが生涯学習に参加しやすい環境を整えるため、トイレなどの改修を行い、安全で快適な生涯学習の場を整備します。	1億83万9千円
体育館周辺整備事業費	総合運動公園へのアクセスを高めるために道路を新設し、隣接する市民体育館駐車場の拡張に向けた取り組みを行います。	768万9千円

自然と調和した快適に暮らせるまちづくり		
名称	概要	予算額
道善・恵子地区幹線道路等 整備事業費	道善・恵子地区の土地区画整理事業による新市街地の創出については、造成などの工事が計画的に進められ、令和5年11月にはバスの新営業所が供用開始されました。令和6年度は引き続き総合運動公園との連携や公共交通機能を強化したまちづくりの実現に向け、幹線道路と交通広場の整備費用を支援します。	2億4,263万8千円
都市公園新設事業費 (道善・恵子土地区画整理事業)	道善・恵子土地区画整理事業に併せて、令和5年度に行ったワークショップにおける意見を参考にした公園を整備します。	4,246万2千円
市道総合運動公園線 道路新設事業費	総合運動公園と県道後野福岡線をつなぐ道路整備を行うとともに、道善・恵子土地区画整理事業に併せて、一般国道385号とつながる交通ネットワークを形成します。	1億7,800万円
ホームページ管理費	市民の皆さまに分かりやすく、かつタイムリーな情報提供を図ることで、行政サービスの利便性向上と、市外への魅力発信ツールになるようホームページをリニューアルします。	598万4千円

自然の豊かさを感じるまちづくり		
名称	概要	予算額
電気自動車導入事業費	令和5年度に引き続き公用車への電気自動車の導入を行い、ゼロカーボンシティ那珂川の実現に向けた地球温暖化対策に取り組めます。	2,085万6千円
ゼロカーボン推進事業費	ゼロカーボンシティ那珂川を実現するため、再生可能エネルギーの導入推進に向けて研究機関との連携協定の締結を行い、推進に向けた具体的な取り組みの検討を進めます。	845万1千円
有害鳥獣対策事業費	人的被害を引き起こすサルの市街地への出没に対応するため、令和5年度に引き続き被害防止に向けた取り組みを行います。	712万2千円

地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり		
名称	概要	予算額
水源地域活性化支援事業費	五ヶ山クロスを含む水源地域のさらなる観光コンテンツの充実と回遊性向上を目指し、「水源地域振興計画」を策定し、観光資源を活かした実効的なアクションプランを定めます。	720万円
ミリカローデン那珂川リニューアル事業費	文化・芸術振興の中核拠点であるミリカローデン那珂川において、生涯学習センターの全面改修工事を実施します。令和3年度から令和5年度までのリニューアル工事と併せ、快適に利用できる施設の実現に向けて工事を進めます。	7億1,210万8千円
移動図書館車導入事業費	市民の皆さまが身近に本に触れることのできる環境を整備するため、移動図書館車を導入します。	2,822万6千円

※令和6年3月定例会にて表明した内容より抜粋したもので、予算額は当初予算ベースです。

3. 収入と支出について

①令和6年度予算

一般会計

歳入

項目		金額	構成比
自主財源 92億5,013万3千円	市税	67億728万4千円	32.5%
	固定資産税	33億2,874万5千円	16.2%
	市民税	28億2,033万3千円	13.7%
	たばこ税	4億1,496万1千円	2.0%
	軽自動車税	1億3,830万9千円	0.6%
	入湯税	493万6千円	0.0%
	繰入金	12億7,122万7千円	6.2%
	使用料及び手数料	2億2,269万1千円	1.1%
	分担金及び負担金	1億5,474万4千円	0.8%
	その他	8億9,418万7千円	4.3%
	寄附金	5億500万円	2.4%
	諸収入	2億8,704万4千円	1.4%
	繰越金	8,000万円	0.4%
財産収入	2,214万3千円	0.1%	
依存財源 113億3,971万7千円	国庫支出金	39億3,446万2千円	19.1%
	地方交付税	29億2,831万3千円	14.2%
	普通交付税	26億6,332万円	12.9%
	特別交付税	2億6,499万3千円	1.3%
	市債	12億6,885万5千円	6.2%
	県支出金	16億4,691万7千円	8.0%
	地方消費税交付金	11億7,531万6千円	5.7%
	地方譲与税	1億4,025万3千円	0.7%
	その他国や県からの交付金	2億4,560万1千円	1.2%
	法人事業税交付金	6,295万6千円	0.3%
	地方特例交付金	5,060万7千円	0.3%
	ゴルフ場利用税交付金	4,551万円	0.2%
	株式等譲渡所得割交付金	2,930万9千円	0.1%
	配当割交付金	2,883万2千円	0.1%
	環境性能割交付金	1,650万3千円	0.1%
	交通安全対策特別交付金	891万2千円	0.1%
	利子割交付金	297万2千円	0.0%
合計	205億8,985万円	100.0%	

歳出(性質別：市で支出する経費をその経済的性質に分類したもの)

項目	金額	割合
扶助費 児童手当、障がい者の自立支援給付費など	63億1,142万6千円	30.7%
物件費 光熱水費や施設の維持管理費、事務用品・備品購入費など	34億3,352万3千円	16.7%
人件費 職員の給料や議員などの報酬	31億7,793万6千円	15.3%
投資的経費 施設や道路を作ったり、災害復旧に充てたりするお金	19億1,697万3千円	9.3%
補助費等 団体や個人に対する負担金や補助金など	17億6,378万1千円	8.6%
繰出金 他会計（下水道事業や介護保険事業等）へ繰出すお金	15億7,881万8千円	7.7%
公債費 借入金の返済金	13億4,152万4千円	6.5%
積立金 基金（市の貯金）へ積立てるお金	7億6,301万8千円	3.7%
維持補修費 施設や設備などの修繕を行うためのお金	1億9,749万2千円	1.0%
予備費 不測の支出に対応するために準備しておくお金	5,722万3千円	0.3%
投資・出資・貸付金 他団体や中小企業へ出すお金	4,813万6千円	0.2%
合計	205億8,985万円	100.0%

歳出(目的別：市で支出する経費をその行政目的に合わせて分類したもの)

項目	金額	割合
民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉施策を行う経費 保育所運営経費など	79億3,640万8千円	38.5%
教育費 市立の学校や幼稚園を運営するための経費など	33億9,888万5千円	16.5%
総務費 役所の事務運営のための経費 人件費、庁舎施設管理、電算システム管理委託料など	25億9,914万6千円	12.6%
公債費 借入金の返済金	13億4,152万4千円	6.5%
衛生費 ごみ収集、し尿処理委託費、住民健診など健康づくりのための経費	13億2,254万1千円	6.4%
諸支出金 一般会計が負担する特別会計への繰出金	12億6,231万2千円	6.1%
土木費 道路整備などのために必要な経費	12億4,829万4千円	6.1%
消防費 防災・防犯・交通安全と消防活動に必要な経費 春日・大野城・那珂川消防組合への分担金など	8億4,086万9千円	4.1%
農林水産業費 農業・林業振興のための経費で、改修工事など施設整備のために必要な経費	2億5,025万1千円	1.2%
議会費 市議会運営のための経費 議員報酬など	1億7,543万1千円	0.9%
商工費 商工振興のための経費 中小企業融資預託金など	1億5,596万6千円	0.8%
その他 想定していない事態が生じたときに使う予備費や災害が発生した場合の復旧するための経費など	5,822万3千円	0.3%
合計	205億8,985万円	100.0%

②令和6年度特別会計予算

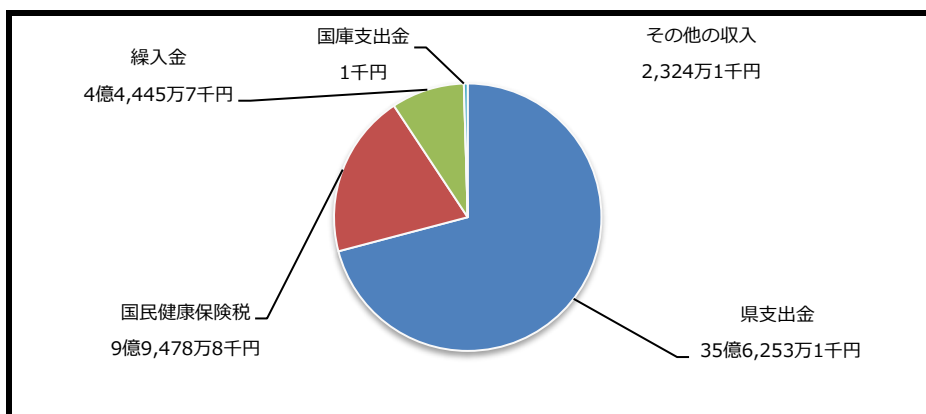
前のページまでは、行政運営の基本となる一般会計についての説明を
しました。このページからは、特定の事業を実施するために特定の料金
収入などで運営するもう1つのお財布である特別会計について説明しま
す。

令和6年度は、「国民健康保険事業特別会計」、「介護保険事業特別会
計」、「後期高齢者医療特別会計」、「下水道事業会計」、「岩戸財産
区特別会計」、「安徳財産区特別会計」、「南畑財産区特別会計」の7の
特別会計があります。

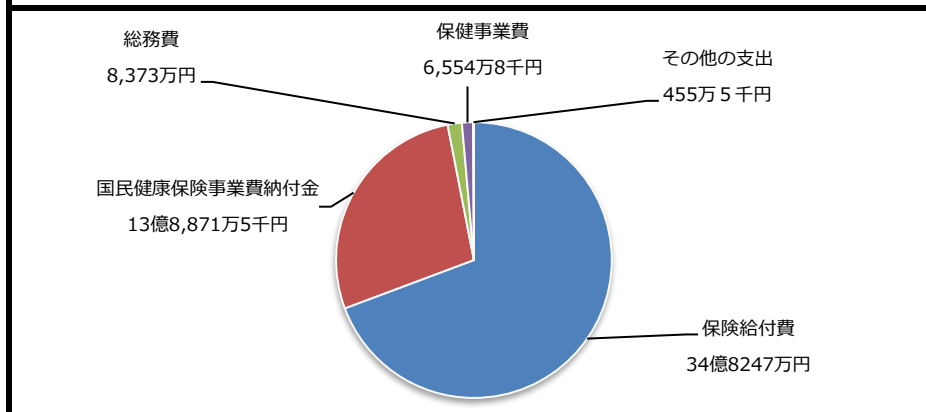
(1)国民健康保険事業特別会計 総額：50億2,501万8千円

社会保険に加入していない人が加入する保険で、国民健康保険税、医療
費、特定健診・特定保健指導(各医療保険者が生活習慣病予防のために行う健
康診断や生活習慣改善のための保健指導のこと)などの国民健康保険事業に関
するお金の出し入れを管理する会計のことです。

(歳入)



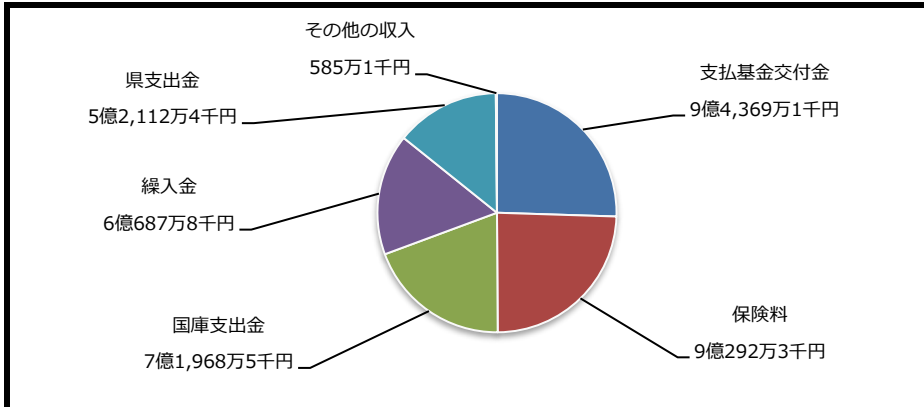
(歳出)



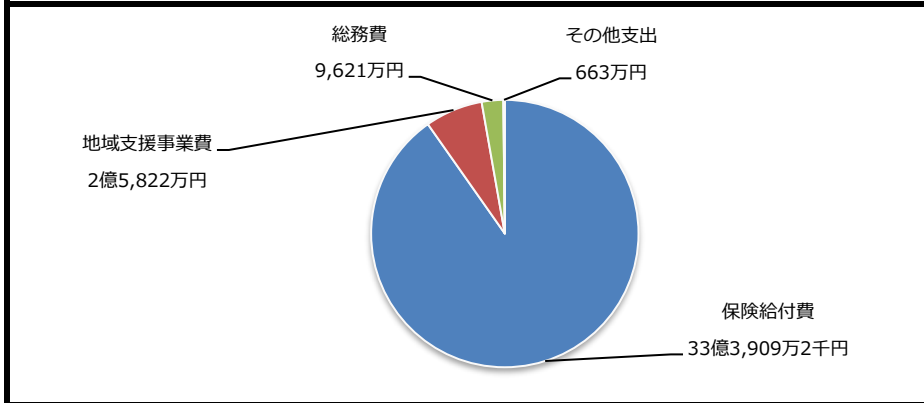
(2)介護保険事業特別会計 総額：37億15万2千円

介護保険料、介護サービス(ホームヘルプ、訪問リハビリテーション、施設入所などのサービスで要介護1～5の人が受けるサービス)や介護予防サービス(サービスの種類は介護サービスと同様で要支援1・2の人が受けるサービス)などの介護保険事業に関する会計のことです。

(歳入)



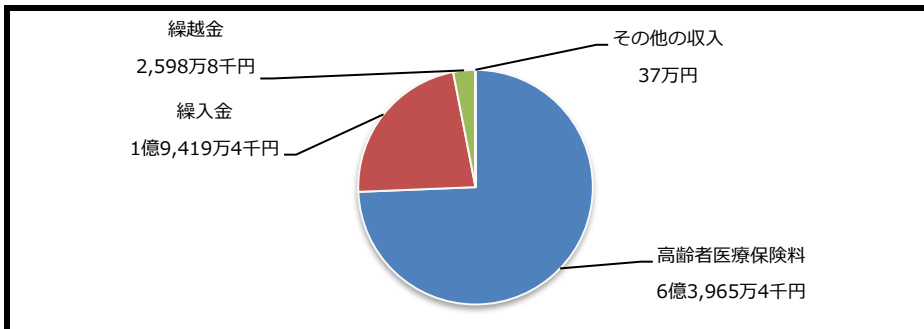
(歳出)



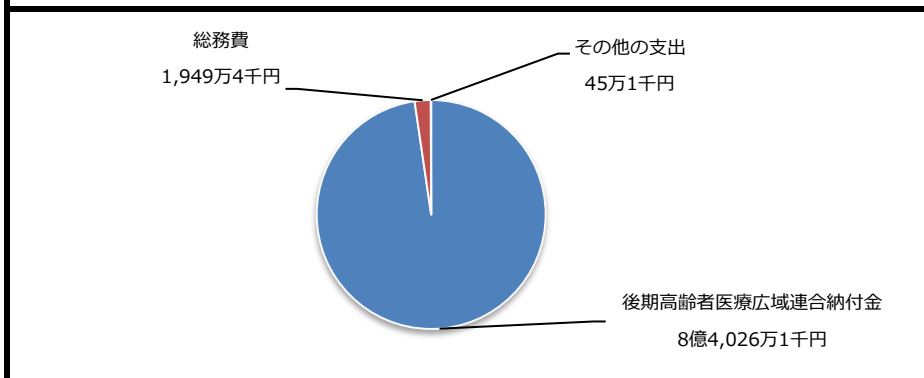
(3)後期高齢者医療特別会計 総額：8億6,020万6千円

75歳以上の高齢者を対象とした医療制度に関する会計のことです。

(歳入)



(歳出)

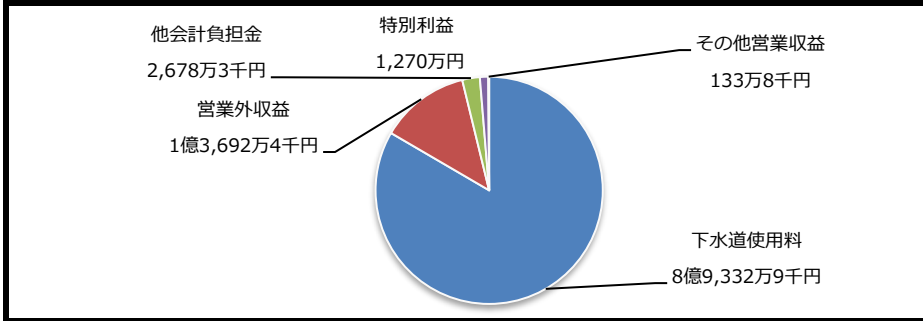


(4)下水道事業会計

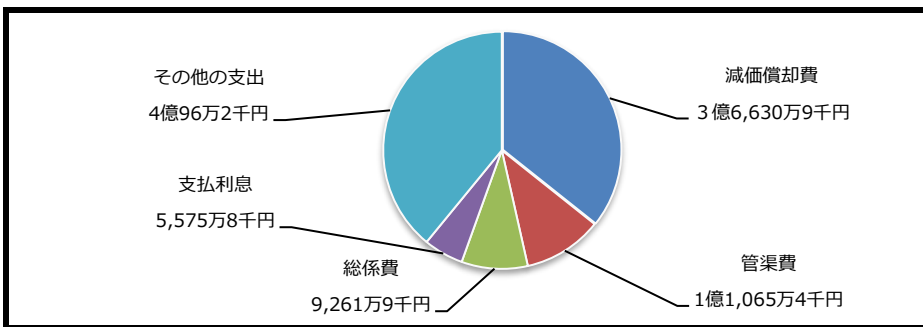
(収益的収支)

下水道使用料、下水道関係施設の維持管理費や減価償却費、建設時に借りたお金の支払利息などの経営に関するお金のことです。

(歳入) 総額：10億7,107万4千円



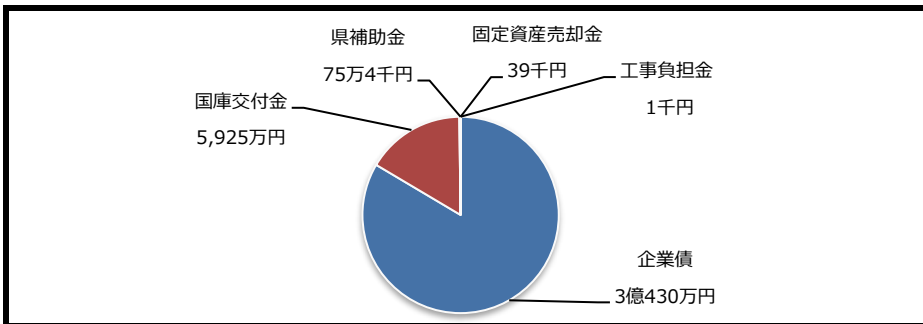
(歳出) 総額：10億2,630万2千円



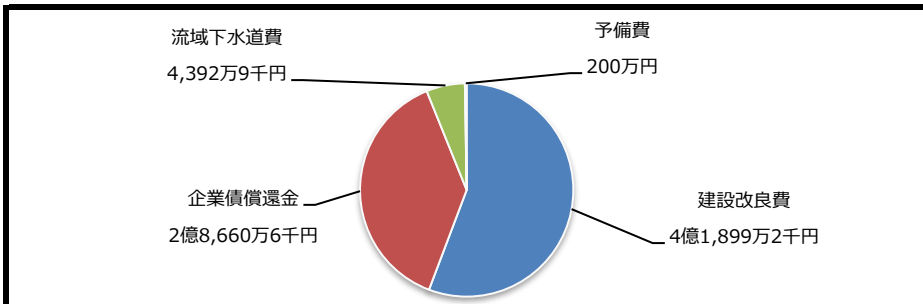
(資本的収支)

下水道関係施設の建設や改良のための経費、建設のために借りたお金、建設時に借りたお金の償還金などの施設の建設に関するお金のことです。

(歳入) 総額：3億6,434万4千円



(歳出) 総額：7億5,152万7千円



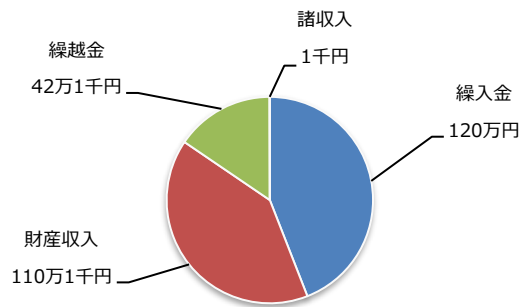
※なお、歳入不足額3億8,718万3千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,001万2千円、減債積立金取崩額1億116万5千円、過年度分損益勘定留保資金2億4,600万6千円で補てんするものとする。

(5)岩戸財産区特別会計

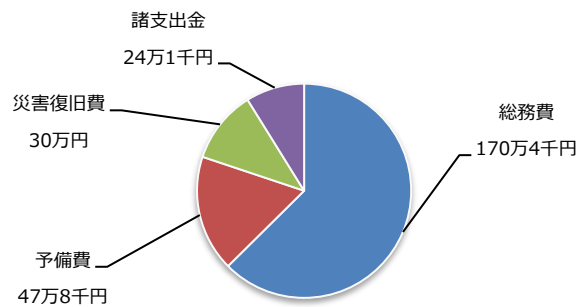
総額：272万3千円

岩戸財産区の運営に関する収入と支出を管理する会計です。

(歳入)



(歳出)

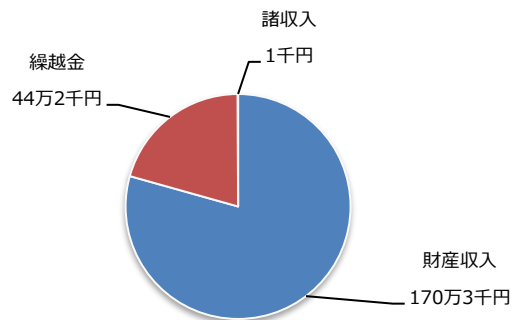


(6)安徳財産区特別会計

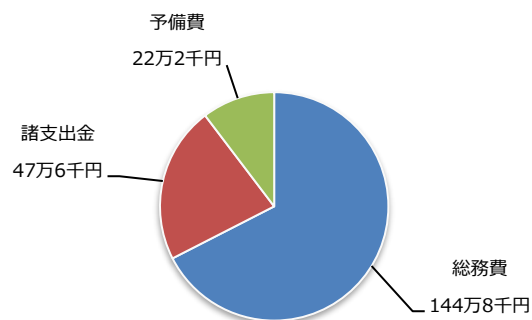
総額：214万6千円

安徳財産区の運営に関する収入と支出を管理する会計です。

(歳入)



(歳出)

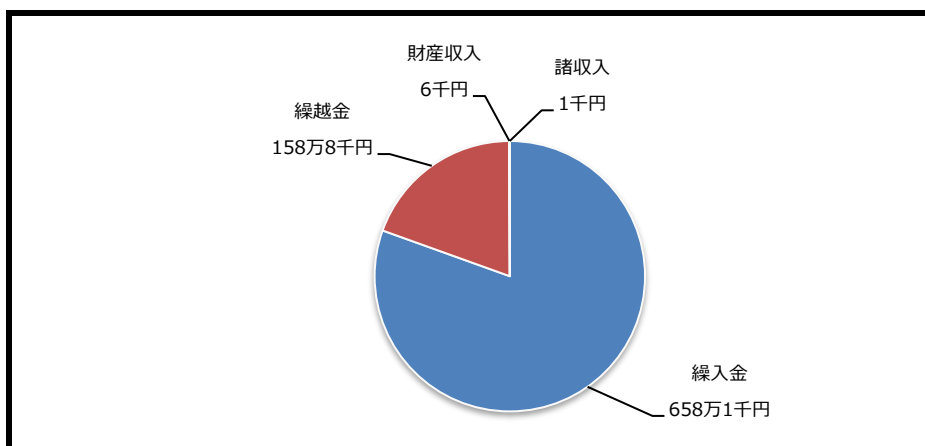


(7)南畑財産区特別会計

総額：817万6千円

南畑財産区の運営に関する収入と支出を管理する会計です。

(歳入)



(歳出)

